

エグゼクティブサマリー

COVID-19のパンデミックは、高齢者、特に介護施設で生活している人に影響を与えている。COVID-19に関連する死亡の40%以上が介護施設に関連していることが多くの国々で示されており、高所得国ではその数は80%に上る。さらに、介護施設では、COVID-19に罹患した入居者の死亡率は、介護施設外に住む同年代の集団よりも高い可能性がある。COVID-19の流行期においては、介護施設入居者は元々リスクが高い高齢者であることに加え、様々な医療体制が制約を受けているため、予防策も不十分になりやすく、感染防護資材等の資源も不足しがちであることが多い。さらに、常に必要とされる訪問診療やリハビリなどへのアクセスも限られてしまうことがある。

職種別にみると、介護施設等で働く介護職へのCOVID-19の影響は高いこともわかっている。英国国家統計局による2020年の職業別死亡率調査では、ソーシャルケア担当者（訳注：福祉にかかわるサービスの担い手など）のCOVID-19関連死亡率が有意に高いことが明らかになった。

これまでのところ、COVID-19は介護施設で特に大きな影響を与えている。しかし、介護サービスの利用者や提供者の多くが、COVID-19が重症化する危険が大きな人々であることから、施設介護だけでなく、在宅や地域を含むあらゆる場面を視野にいれて、関係機関が協力していくことが必要である。介護現場での感染対策は、COVID-19の影響を抑えるための基本的かつ不可欠な取り組みであり、これは多くの国々に当てはまる。介護現場での感染対策に取り組んではじめて、その国が「誰も見捨てないCOVID-19対策をしている」と公言できる。

このポリシー・ブリーフには、介護現場でのCOVID-19の予防と管理のための11の政策目標と重要事項が示されている。対象者は、COVID-19対応に関与している政策立案者や国、地方自治体の職員である。本ポリシー・ブリーフは、COVID-19パンデミックの予防、準備、対応のために必要な対応、および介護提供者を含む介護サービス全体の影響を緩和するためにとられた措置について現在利用可能なエビデンスに基づいて構成されている。

介護の現場の状況は様々であるが、本ポリシー・ブリーフはあらゆる状況を踏まえた政策や対策の例を記載している。介護施設については、COVID-19の新規発症、罹患率、死亡率が高いため、とりわけ重点的に扱っている。

さらに、このポリシー・ブリーフでは、介護制度が長年抱えてきた課題取り上げている。たとえば、資金不足、説明責任の欠如、医療と介護の分断、介護職が過小評価されていることなどである。介護サービスが、健康増進、予防、治療、リハビリテーション、緩和というひとつなぎのケアの一部として提供されることをめざして、医療と介護のサービスの改革案を提示している。以上のことを実践していくことではじめて、介護を必要とする人々に対して、質が高く公平なケアを継続的に届けることができる。それは、彼らのその基本的な人権と自由、そして人としての尊厳をまもることにつながるのである。